

2025年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年6月28日

上場会社名 株式会社ピクルスホールディングス 上場取引所 東
コード番号 2935 URL https://www.pickles-hd.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 影山 直司
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理財務部長 (氏名) 三品 徹 TEL 04-2931-0777
四半期報告書提出予定日 2024年7月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第1四半期の連結業績（2024年3月1日～2024年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第1四半期	10,812	△5.9	504	△32.9	520	△34.0	362	△31.1
2024年2月期第1四半期	11,485	—	751	—	789	—	526	—

(注) 包括利益 2025年2月期第1四半期 368百万円 (△28.5%) 2024年2月期第1四半期 515百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第1四半期	29.14	28.31
2024年2月期第1四半期	41.94	41.07

(注) 当社は2022年9月1日に単独株式移転により設立されたため、2024年2月期第1四半期における対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第1四半期	28,976	18,347	62.0
2024年2月期	27,713	18,254	64.6

(参考) 自己資本 2025年2月期第1四半期 17,960百万円 2024年2月期 17,890百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	0.00	—	24.00	24.00
2025年2月期	—	—	—	—	—
2025年2月期(予想)	—	12.00	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,830	△1.2	1,325	3.5	1,364	0.7	914	△0.1	73.49
通期	43,500	1.1	1,700	1.9	1,780	0.5	1,200	2.1	96.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）株式会社尾花沢食品

（注）詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年2月期1Q	12,858,430株	2024年2月期	12,858,430株
② 期末自己株式数	2025年2月期1Q	421,400株	2024年2月期	421,400株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年2月期1Q	12,437,030株	2024年2月期1Q	12,549,158株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善するなか、各種政策の効果もあり、景気は緩やかな回復の動きが見られました。しかしながら、原材料・エネルギー価格の高騰の長期化に加え、金融資本市場の変動による影響など、景気の下振れリスクが懸念され、先行きは不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、インバウンド需要の回復により外食需要は堅調に推移しているものの、内食需要は、食料品価格やエネルギー価格など、さまざまなものが値上げされたことによる不安感から生活防衛意識が高まり、消費者の節約志向が強まっております。この影響を受け、漬物などのご飯まわりの関連製品についても、引き続き厳しい事業環境となっております。

このような状況のなか、当社グループは、北海道から九州まで全国に展開している製造・販売のネットワークを活用し、新規取引先や新しい販路の開拓及び既存得意先の拡販に取り組みました。

販売面では、株式会社フードレーベルにおいて、「#牛角キムチでハピネス 新生活応援キャンペーン」と題し、「牛角韓国直送キムチ」を対象として、牛角監修商品詰合せやBRUNO ブレンダーセットが当たるキャンペーンを実施しました。さらに、本キャンペーンでは、フードレーベル公式インスタグラムを活用するなど、SNSを利用した販売促進にも取り組みました。

製品開発面では、株式会社ピクルスコーポレーションにおいて、開封してすぐ食べられる、サラダ感覚の浅漬の「液切りいらず おしんこ白菜」や、ホタテエキスと鶏だしの後引く旨味、おろし生姜とにんにくが入ったクセになる味わいの「帆立と鶏の旨味 3種の浅漬」などの新商品を発売しました。また、株式会社フードレーベルにおいては、一つ一つ手作業でヤンニョムを塗り込んだこだわりの一品「両名屋 匠の一本 技ものキムチ」などを発売しました。その他、コラボ商品の開発、既存商品のリニューアル等を実施しました。

新規事業では、外食事業及び小売事業を行う「OH!!!～発酵、健康、食の魔法!!!～」(所在地：埼玉県飯能市)において、2024年3月に「飯能ベーカリー POCO-POCO」をオープンし、新しくパンの販売を開始しました。

売上高は、さまざまなものの価格上昇による消費者の節約志向の影響や、コンビニエンスストア向けの売上が減少したことなどにより減収となりました。

利益については、暖冬や春先の天候不順などの天候要因により原料となる白菜や胡瓜などの野菜の価格が高騰したこと、売上高が減少したことや物流費の上昇などの影響により減益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は10,812百万円(前年同四半期比5.9%減)、営業利益は504百万円(同32.9%減)、経常利益は520百万円(同34.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は362百万円(同31.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,262百万円増加し、28,976百万円となりました。これは主に現金及び預金が401百万円、受取手形及び売掛金が663百万円、株式会社ピクルスコーポレーションの茨城工場建設工事等により建設仮勘定が247百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債については、前連結会計年度末に比べて1,169百万円増加し、10,629百万円となりました。これは主に買掛金が717百万円、長期借入金が293百万円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べて93百万円増加し、18,347百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益等により利益剰余金が63百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の業績予想につきましては、2024年4月12日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,754	8,155
受取手形及び売掛金	4,119	4,783
商品及び製品	380	445
仕掛品	66	79
原材料及び貯蔵品	216	237
その他	85	94
流動資産合計	12,622	13,796
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,691	4,602
機械装置及び運搬具(純額)	1,564	1,507
土地	6,527	6,527
リース資産(純額)	32	49
建設仮勘定	478	725
その他(純額)	143	134
有形固定資産合計	13,436	13,547
無形固定資産		
のれん	206	181
その他	120	111
無形固定資産合計	326	292
投資その他の資産		
投資有価証券	677	695
繰延税金資産	571	566
その他	78	78
投資その他の資産合計	1,327	1,340
固定資産合計	15,091	15,180
資産合計	27,713	28,976

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,892	3,609
短期借入金	1,100	1,100
1年内返済予定の長期借入金	400	557
リース債務	5	7
未払法人税等	449	168
賞与引当金	163	61
役員賞与引当金	19	—
その他	1,636	2,003
流動負債合計	6,668	7,507
固定負債		
長期借入金	1,628	1,921
リース債務	6	24
繰延税金負債	17	17
退職給付に係る負債	818	838
その他	321	320
固定負債合計	2,791	3,122
負債合計	9,459	10,629
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	2,803	2,803
利益剰余金	15,315	15,379
自己株式	△499	△499
株主資本合計	17,719	17,783
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	172	178
退職給付に係る調整累計額	△2	△2
その他の包括利益累計額合計	170	176
新株予約権	352	375
非支配株主持分	11	11
純資産合計	18,254	18,347
負債純資産合計	27,713	28,976

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)
売上高	11,485	10,812
売上原価	8,985	8,559
売上総利益	2,499	2,252
販売費及び一般管理費	1,748	1,748
営業利益	751	504
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
負ののれん償却額	9	—
持分法による投資利益	9	7
受取賃貸料	8	8
その他	16	6
営業外収益合計	44	23
営業外費用		
支払利息	1	2
賃貸費用	4	4
その他	0	—
営業外費用合計	6	6
経常利益	789	520
特別利益		
補助金収入	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産処分損	0	5
特別損失合計	0	5
税金等調整前四半期純利益	789	515
法人税等	263	153
四半期純利益	526	362
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	526	362

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)
四半期純利益	526	362
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11	6
退職給付に係る調整額	—	0
その他の包括利益合計	△11	6
四半期包括利益	515	368
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	515	368
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間において、連結子会社でありました株式会社尾花沢食品は、連結子会社の株式会社ピクルスコーポレーションにより吸収合併され消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。